

平成28年2月11日（木・祝）13:00～17:45に
仙台サンプラザホール、ホテルで開催しました！

メインテーマ：

この先へ続く、東北の「新たな挑戦」

東日本大震災から約5年、復興の道は、これからは続いていくとします。

今回の交流会では、これまでに東北の各地で生まれた「新たな挑戦」を紹介し、今後の復興の在り方を皆様と一緒に考えることを目的として企画しました。

当日は、約360団体から約760名の皆様にお越いただきました。

※今回の交流会の様子は協議会のウェブサイト（http://www.newtohoku.org/works_detail_015）およびFacebookページでも紹介しています。（<https://www.facebook.com/newtohoku>）

■ オープニング

高木復興大臣からの挨拶の後、村井宮城県知事からご挨拶をいただきました。



■ 先導的なビジネスの顕彰

被災地で先導的なビジネスを展開している事業者（復興庁「私たちが創る～産業復興創造 東北の経営者たち～」の掲載事業者）の顕彰と各事業者の取組内容の紹介を行いました。震災による担い手不足や風評被害等の課題を新商品開発やITシステムの導入などの新しい取組により乗り越えてきた6団体が顕彰・紹介されました。



■ パネルディスカッション ～この先の「復興支援」とは～

藤沢 烈氏（一般社団法人RCF）をモデレーターに迎え、石塚 直樹氏（一般社団法人みやぎ連携復興センター）、河崎 保徳氏（ロート製薬株式会社）、小松 真実氏（ミュージックセキュリティーズ株式会社）、笹野 健氏（宮城県石巻市副市長）にご登壇いただき、NPO法人、企業、自治体それぞれの立場から、今後の課題やこれからの復興支援への関わり方についてご議論いただきました。特に、コミュニティの形成や産業の再生、復興活動の担い手の確保が今後5年間の各者共通の課題であり、今後は課題を乗り越えるため、NPO法人、企業、自治体がより深く連携していく必要があるとの議論がありました。



■ ブース出展・プレゼンテーション

東北で「新たな挑戦」に取り組む団体を中心に90以上の団体がブース出展を行い、各団体の取組内容の紹介が行われました。試食を提供しているブースや商品の展示を行っているブースも多くあり、ブースを訪れた方と商品について意見交換を行っている姿が多く見られました。

ブース出展者のうち、24団体にはプレゼンテーション形式でも活動内容をご紹介いただきました。



■ 専門家による商品アドバイス

百貨店OBの方や、「究極のお土産」の審査員などをお招きし、東北の事業者の商品に対し、アドバイスをしました。専門家からは誰を対象にして売りたいかを明確にした上で「商品のセールスポイント」が伝わる工夫をすべきといったアドバイスがなされました。



■ 「復興支援インターン」活動報告

復興大学主催の「復興支援インターン」に参加した学生からの活動報告が行われ、宮城県女川町、宮城県石巻市の水産加工業者や飲食店でのインターンを通して感じたこと、学んだことなどを参加した大学生からご発表いただきました。



■ 移住者公開座談会／宮城復興局おすすめワンハンドフード

移住者公開座談会では、被災地支援をきっかけに被災地外から宮城県内に移住してきた方をお招きし、今後移住者を増やし、地域づくりに活かすにはどうすべきか、お話しいただきました。

また、復興の進みつつある宮城県沿岸部を歩きながら手軽に食べられる、宮城復興局職員がおすすめする「ワンハンドフード」を紹介する冊子の配布と試食提供が行われました。



■ 「組織活性化研修」取組発表

「新しい東北」官民連携推進協議会の分科会の一つである「地域づくりネットワーク」の取組として行った「組織活性化研修」の取組について発表しました。研修の開催地である鳥根県海士町の方をお招きし、研修内容の紹介を行った後、研修に参加した被災自治体の職員から、研修内容の実践状況等を報告しました。

■ 文化芸術による復興創生へ～復興から創生へ向けての新たな挑戦～

【協力：文化芸術による復興推進コンソーシアム】

文化芸術を活用した復興支援活動を振り返り、文化芸術が今後の復興に果たす役割や文化芸術からの地方創生について議論するパネルディスカッション「文化芸術による復興創生へ～復興から創生へ向けての新たな挑戦～」を開催しました。岩手県、宮城県、福島県の各地で文化芸術を活用した復興に取り組んできた方をパネリストとしてお招きし、これまでの活動の報告と今後の展望等についてお話しいただきました。

■ 懇親会 【協力：文化芸術による復興推進コンソーシアム】

来場者の皆様に自由に親睦を深めていただく懇親会を開催しました。宮城県東松島市矢本鹿妻地区にて震災からの復興プロセスに貢献した「鹿妻鹿踊り」の特別公演を見ながら、出展者、登壇者、参加者の皆様の間では多くの名刺交換や活発な意見交換が行われました。

～来場者の声～

東京から初めて交流会に参加しましたが、被災地の方とつながりができ、今後の支援活動に向けて一歩前進できたと感じました。



～ブースをご出展いただいた皆様～

～出展者の声～

開発した商品に対して、専門家や一般の方から様々なアドバイスをいただきました。

～出展者の声～

同じ地域または同じ分野で活動している団体・企業と新たなコネクションができました。



～出展者の声～

自分たちの活動を広くPRでき、他県・他業種の情報も得ることができました。

～ご協力・ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました～

お問い合わせ

※ 当交流会の開催は、復興庁からみずほ総合研究所へ委託しています。

新しい東北

検索

いいね!

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局（みずほ総合研究所） 岩城・水野

E-mail: nt-info@mizuho-ri.co.jp TEL: 03-3591-8773（平日9:30～17:30）

WEBサイト: <http://www.newtohoku.org/>

Facebook: <https://www.facebook.com/newtohoku>

主催:



官民連携推進協議会（事務局：復興庁）

